

東日本大震災・災害対策本部ニュース

きずな
= 祈りの絆 =

※7月31日現在の震災支援等に関するニュースです。
連盟災害対策支援に関する情報は、連盟ホームページにて日々更新しています。(http://www.bapren.jp/)



上から ①大槌町での炊き出し、女性連合のなごみカフェの横ではマッサージコーナーも ②今回の炊き出しは、盛岡教会の皆さん他、北星学園大学、宣教団、各地方連合、女性連合、災害対策本部、札幌のお好み焼き屋「風月」さん計37名で結成 ③福島県飯館村視察中に放射能を測定 ④郡山コスモス通り教会CS

「被災地を忘れない」
テレビや新聞から東日本大震災のニュースが少しずつ減っていく中で、連盟災害対策本部や被災地にある教会は、「痛んでいる方々のことを忘れない」、「共に歩ませてもらいたい」という思いを熱くしながら、取り組みを続けています。お寄せいただいた緊急救援金を大切に使用していただき、継続した取り組みができています。

4月初旬から始まった避難所での炊き出しも、岩手県・宮城県・福島県域全体での20回近く行うことができた。当初、疲労困ぱいにある避難所のキッチンスタッフ（多くはお母さんたち）をわずかにでも助ける意味合いで始めましたが、炊き出しをする中で、励まし合いなどお互いの心の交流の面が豊かに展開されることとなりました。

7月23日、岩手県大槌町の小学校避難所での最後の炊き出しが行われました。女性連合の「なごみカフェ」も加わって、福岡連合女性会の手作りマドレーヌとクッキーに水出しコーヒ、ハンドマッサージなど多彩な働きで、被災地の方々と心の触れ合いをすることができました。

「被災地を忘れない」
テレビや新聞から東日本大震災のニュースが少しずつ減っていく中で、連盟災害対策本部や被災地にある教会は、「痛んでいる方々のことを忘れない」、「共に歩ませてもらいたい」という思いを熱くしながら、取り組みを続けています。お寄せいただいた緊急救援金を大切に使用していただき、継続した取り組みができています。

7月23日、岩手県大槌町の小学校避難所での最後の炊き出しが行われました。女性連合の「なごみカフェ」も加わって、福岡連合女性会の手作りマドレーヌとクッキーに水出しコーヒ、ハンドマッサージなど多彩な働きで、被災地の方々と心の触れ合いをすることができました。

6月から東北地方連合の教会の方々が委員となって、現地支援委員会の働き

「被災地を忘れない」
テレビや新聞から東日本大震災のニュースが少しずつ減っていく中で、連盟災害対策本部や被災地にある教会は、「痛んでいる方々のことを忘れない」、「共に歩ませてもらいたい」という思いを熱くしながら、取り組みを続けています。お寄せいただいた緊急救援金を大切に使用していただき、継続した取り組みができています。

「被災地を忘れない」
テレビや新聞から東日本大震災のニュースが少しずつ減っていく中で、連盟災害対策本部や被災地にある教会は、「痛んでいる方々のことを忘れない」、「共に歩ませてもらいたい」という思いを熱くしながら、取り組みを続けています。お寄せいただいた緊急救援金を大切に使用していただき、継続した取り組みができています。

「被災地を忘れない」
テレビや新聞から東日本大震災のニュースが少しずつ減っていく中で、連盟災害対策本部や被災地にある教会は、「痛んでいる方々のことを忘れない」、「共に歩ませてもらいたい」という思いを熱くしながら、取り組みを続けています。お寄せいただいた緊急救援金を大切に使用していただき、継続した取り組みができています。

■ 祈りの課題 ■

- 刻々と変化する被災地、避難状況の中で、様々な「引き裂かれ」痛んでいる一人ひとりに、主ご自身の慰めと癒しがあるように。
- 教会の支援活動が聖霊の働きのもとで「和解のつとめに仕える」奉仕として整えられ用いられるように。
- 福島原発の放射能飛散が一日も早く収束し改善していくように。

■ 連盟・遠野ボランティアセンター（岩手県） ■

岩手県遠野市に、日本バプテスト連盟・遠野ボランティアセンター（旧JA青笹支所）が設置されました。8月1日～9月30日までの期間の利用を呼びかけます。連盟ホームページ内にある、「ボランティア受け入れ実施要綱」をご確認の上、お申込みください。なお、本センターはボランティア用宿泊所であり、現時点では、ボランティアのコーディネートはしていません。ボランティア活動は、原則、岩手県遠野市にあるNGO「遠野まごころネット」（8月13～16日はお休み）を通して、三陸沿岸の津波被災地での支援活動に携わります。ボランティアについては「遠野まごころネット」にご確認いただき、各自にて直接お申込みください。遠野ボランティアセンターについてのご不明点は連盟災害対策本部までお問い合わせください。なお、連盟主催の被災地支援活動は、現在調査・検討中です。

「被災地を忘れない」
テレビや新聞から東日本大震災のニュースが少しずつ減っていく中で、連盟災害対策本部や被災地にある教会は、「痛んでいる方々のことを忘れない」、「共に歩ませてもらいたい」という思いを熱くしながら、取り組みを続けています。お寄せいただいた緊急救援金を大切に使用していただき、継続した取り組みができています。

【東日本大震災緊急救援募金のお願い】 7/28現在 108,960,370円 [海外分49,969,282円含む]

送金先：郵便振替 00140-9-180881 「宗教法人日本バプテスト連盟総務部」

※東日本大震災募金と明記してください（東北地方太平洋沖地震募金、東北関東大震災でも結構です）。
※募金は極力教会でまとめて送金ください。海外からの募金は別口座です。総務部までお問い合わせください。
※募金いただいた方々の名簿は、連盟ホームページ（http://www.bapren.jp/）にアップしています。

<募金（目標総額5,000万円）の用途の目安は次の通りです>

①被災教会・教会員へのお見舞い/教会建物支援 1500万円 ②被災地支援2500万円
③現地スタッフ/ボランティア活動費、事務局費 1000万円

※募金目標額が既に超えております。今後、理事会において募金用途について再検討がなされる予定です。